

相模経済新聞

THE SAGAMI KEIZAI

かながわ地球環境賞

相模原企業6社が受賞

県などが、地球環境保全に向けて特に優れた取り組みを行った団体を表彰する「かながわ地球環境賞」の受賞者が決まり、「地球温暖化部門」に相模原市内の企業6社が選ばれた。6日に県庁本庁舎(横浜市中区)で表彰式があり、各社の代表が黒岩祐治知事から表彰状を受け取った。

「地球環境保全活動」「地球温暖化対策」「かながわスマートエネルギー計画」の3部門では、一般公募で応募があった

計28件と県が推薦した5事業者が候補となった。2017年11月30日に開かれたかながわ地球環境賞審査委員会の審査を経て、計22者を受賞者として決定した。今年度から中小規模事業者における地球温暖化対策の取組を新たに対象に加えた。

通信ケーブルや周辺機器の製造を手掛けるエイム電子(南区磯部)は、事業活動省エネ推進企業として①省エネT(チーム)②産廃削減T③防災Tの3Tを組

織。本社と物流センターを高効率空調設備・LEDに更新したほか、各種取組を進めている。アルミ建材・建築金物を製作・施工しているカネヒデ(中央区田名塩田1)は、コンプレッサー

のエア漏れチェック・圧力管理の適正運用などに取組んでいる。工業団地内で自社の取組を紹介し、ほかの事業者に取り組みが波及している。清和サービス(同区宮下3)は資源リサイクルの事業活動で、全社員を

対象とした環境活動方針を掲げ、社内委員会を通じて取組実績の把握・評価・指導を実施。デマンドコントローラーの導入による最大需要電力の抑制、高効率空調設備への交換、雨水貯留用タンクの設置などを行っている。

貸し倉庫や物流を手掛ける東栄倉庫(同区清新8)は、環境活動方針を掲げ、社内委員会を通じて取組実績の把握・評価・指導を実施。全ての照明機器をLEDに更新したほか、節電などに関する社内マニュアルを作成した。高周波誘導加熱装置を製造する日本サーモニクス(同区田名塩田1)

は、温室効果ガスの削減目標を定め、毎月のエネルギー使用量の把握・評価などを実施。本社とラボの電気使用量をデマンド管理しているほか、高効率空調への入れ替え、各室温・湿度のモニタリング管理、ポンプ・コンプレッサーのインバーター制御で減力運転を行っている。

流体継手や熱交換器などを製造するリカルジョイント(南区大野台1)は、空調機の適正な温度設定・管理、フロン排出抑制法を遵守した定期点検などを推進。社員の環境意識が向上し、各家庭でもこまめな消灯・節電が波及するなど省エネの取組みが根付いた。